

地域支え合いセンター



丸森町社会福祉協議会
マスコットキャラクター
るくたん

町民グラウンドで熱気球搭乗体験

復興フライト

10月22日 (土)

天候	晴れ
風速	0~2m
高度	約15m
搭乗開始	6時30分
係留終了	9時00分
最年少	1歳
最年長	86歳
搭乗者	201名



▲静かな朝、空気を温めるバーナーの音が響き渡りました。

爽やかな秋の朝、復興に向けて変わりゆく丸森町をいつもとは違う視点から見て、町の美しさを改めて感じていただきたいと、熱気球の搭乗体験を行いました。元々は10月10日開催予定でしたが、天候不良のため22日に延期になったものです。この日は風が穏やかで、雲の隙間から青空がのぞく丸森町の空に、東北一の大きさを誇る気球が浮かび上りました。

一番早い方は朝5時から並んでいたとのこと。その後も次々と町民の方々が来場し、バルーンが膨らみ気球が立ち上っていく様子を固唾をのんで見守っていました。

生まれ育った町を空から眺めたいと、年配の方が多く参加してくれたのが大変嬉しかったです。ご来場の皆さん、そして運営に協力してくださった町内外の皆さん、本当にありがとうございました!!



▲上空からは、人がとても小さく見えました。

黄色いハンカチについて

天候に左右される気球係留。決行のお知らせは「町民グラウンドに、黄色い旗(ハンカチ)を掲げる」方法を取りました。掲げたハンカチは、東日本大震災の甚大な被害から復興の歩みを進めている山元町の「やまもと語りべの会」からお借りしました。ハンカチ一枚一枚に、メッセージや伝えたい思いが書かれていました。

「沢山の思いをのせて、“まち”は必ず復興する」



まなびの森 移動教室通信

移動教室サポーターをご紹介します。

丸森地区移動教室内で月1回開催している「丸森みらい食堂」サポーターの「丸森地区婦人会」の皆さんです。2チームにわかれ、隔月交代で調理を担当してくださっています。料理も片付けもアップという間に完了、チームワーク抜群です。

また、調理室(生活改善実習室)で食事を摂る小学生たちが、苦手なものでも少しづつ食べられるように、励まし、応援し、成長を温かく見守ってくださっています。



献立は、
カワカフェの
星野さんが考案
しています。

丸森まちセン de ボッチャ大会

文化の日の11月3日(木)、丸森まちづくりセンターを会場にボッチャ大会が開催されました。神明・神明北住宅入居予定の方を中心には、約40人が14チームに分かれて、熱戦を繰り広げました。みんなで汗を流した後には、婦人会特製のカレーライス等が振舞われ、参加者同士で交流を深めました。最後はbingoゲームで盛り上がり、「スポーツの秋」と「食欲の秋」の両方を楽しんでいました。

神明住宅木造東側入居開始



神明住宅(木造平屋)東側の24戸が完成し、12月から入居開始となります。

10月2日には、入居予定者を対象に、現地見学会および説明会が行われました。関係者の説明を受けながら実際に住む住宅の設備等を確認する皆さんからは、今後の生活を思い描く楽しそうな様子が伺われました。



神明住宅・神明北住宅

12月から順次入居が始まる神明住宅や、災害公営住宅である神明北住宅では、入居前からコミュニティ形成が始まっています。9~10月の各住宅の集まりでは、地域の現状を具体的に把握できるよう、(一社)東北まちラボから5歳刻み年齢別の人団割合グラフが示されました。また、これまでの地域活動や組織体制を振り返り、これから自分の地域では何が必要なのかを話し合いました。



◆神明住宅世話役会では、話し合いの状況を随時お知らせしています。

第16号 2022年11月15日(奇数月15日)発行

丸森町社会福祉協議会

丸森町社協地域支え合いセンター

宮城県伊具郡丸森町字鳥屋55番地1

電話 (0224)72-2241

FAX (0224)87-8990

